

NOP NEWS

ノッブ

2010年初春号

15

ニュー・オペラ・プロダクション

〒168-0064 東京都杉並区永福 3-20-3 TEL: 03-3328-0817 FAX: 03-3328-0655
e-mail newopera@jcom.home.ne.jp URL http://members.jcom.home.ne.jp/newopera

明けまして、おめでとうございます。

ニュー・オペラ・プロダクションはお陰様で創立20周年を迎えました。幸運にも多くの皆様のご声援を受け、徒手空拳の身にしては身分不相応とも言える成果を上げ得たことは大変有難く深く感謝申し上げます。

世界的な金融危機の時代に突入し、政権交替も救いとはならず、逆に結果が具体的な数字として表れにくい文化活動は切り捨てられる方の仕分けに入り、益々厳しさが増すことでしょう。

しかし、敗戦で全財産を失い中国から帰国、どん底を経験した身ですから、「負けてたまるか」と、まだまだ、やれる範囲内で最善を尽くし奮闘し続ける所存ですので、本年も相変わらずのご声援、ご支援のほど、お願い申し上げます。

代表 杉 理一

◆ 創立20周年記念の特別2公演 ◆

7月30日、31日〈紀尾井ホール〉

当代人気トップの美女2人が
心やさしき醜女に扮して競演する

NOP第13回公演 オペラ「**末摘花**」

榊原政常原作 [しんしゃく源氏物語] による寺嶋陸也作曲

このオペラは2006年2月セシオン杉並で杉並区文化・交流協会との共催で初演、好評を博し三菱信託音楽賞奨励賞を受賞した作品です。主役の末摘花には、現在最も演技力、容姿に優れ、人気の高い歌手、天羽明恵さんと塩田美奈子さんがダブルキャストで出演、そのお二人を囲む歌手陣も実力派の適役揃いになる予定です。

イケメンだ、セレブだと、見かけの綺麗さだけを尊重する現代の浮薄な傾向に対し、外見は醜くとも真に人間の心を揺さぶる感動は、心の純粹さ、真摯な生き方からしか生まれないことを、訴えかけたいと思っています。



2006年2月25日初演舞台 源氏明石から帰るの報に手を取り合って喜ぶ末摘花(佐藤ひさら)と少将(辻 有子) 左は侍従(平井香織) 右は手紙を読む宰相(小畑朱美)と右近(砂田恵美)



現実主義者の叔母(三橋千鶴)は末摘花(佐藤ひさら)にこの屋敷を売り払えと迫る。中央は忠義一徹の乳母の少将(辻 有子)

11月13日〈津田ホール〉

第50回NOPコンサート

オペラ界第一選で活躍する歌手
100人紹介達成記念

オペラに馴染みのない方にも、こんな素敵な歌手達がいることを知っていただこうと、数ヶ月に一度の声楽コンサートを開催してきました。第1回が菅英三子さんとフルート助奏の益田真理さん、第30回が中澤桂さんと作曲家の寺嶋陸也さんと、それ以外は毎回男女二人の歌手によるトーク・コンサートでした。二度出演した人がいないので、第50回で98人になります。そこで、第50回は特例として、ソプラノ、メゾ、テノール、バリトン各パート1人ずつご出演いただき、会場も一周り大きい津田ホールで華やかに記念ガラコンサートを開催することにしました。



第1回 1995年4月15日
ソプラノ: 菅 英三子 フルード: 益田真理 ピアノ: 田中はる子



第10回 1997年9月19日
ソプラノ: 李 恩順 (イ・ウンスン)
バリトン: 青戸 知 ピアノ: 山口佳代



第20回 2000年5月5日
ソプラノ: 半田美和子
テノール: 五郎部俊朗



第30回 2003年10月16日
ソプラノ: 中澤 桂
ピアノ: 寺嶋陸也



第40回 2007年1月11日
ソプラノ: 齋田真木子
バリトン: 池田直樹

**遂に実現した日本を代表するソプラノ
木下美穂子さんNOPコンサートに出演**

1月9日(土)午後2時30分開演
＜音楽の友ホール＞ ピアノ伴奏：梅田朋子

この数年、チャンスをうかがい交渉を続けて来た木下美穂子さんが、NHKのニューイヤー・コンサート出演のための帰国に際し、やっと、このコンサートにも出演可能となりました。彼女の「蝶々夫人」「仮面舞踏会」の名演、紀尾井ホールでのオペラテイク・リサイタル「オテッロ」を観て、彼女の情感豊かな歌に魅了されたので、彼女の今回の出演快諾を一層嬉しく思いました。お相手のバリトンの成田博之さんも日本のオペラ界を支える中堅で、中年の渋い魅力も表現し得る貴重な歌手として活躍しています。このお二人の素敵な組み合わせは前評判も上々です。



木下美穂子 Sp.



成田博之 Br.

「カンターレス」トゥリーナ作曲

オペラ「ファウスト」から
「宝石の歌」グノー作曲

オペラ「アンドレア・シェニエ」から
「国を裏切る者」ジョルダノ作曲

オペラ「トスカ」から
「歌に生き 愛に生き」プッチーニ作曲 ほか

オペラ「耳なし芳一」金沢・射水・横浜 3都市提携公演の制作協力

3月11日(水)午後7時開演＜石川県立音楽堂 邦楽ホール＞
12日(木)午後7時開演＜射水市 高周波文化ホール＞
14日(日)午後3時開演＜横浜みなとみらい小ホール＞

指揮：池辺晋一郎 演出：杉理一

出演/芳一：中鉢聡 和尚：志村文彦 武士：久保田真澄 寺男：安藤常光 他

1993年、第3回の自主公演として舞台初演したオペラ「耳なし芳一」は、1995年、第5回公演と松江公演、2001年、第10回公演、2002年、舞台創造フェスティバル2002参加公演と、5回再演を重ね、今度が6回目の公演です。

今回の公演はオーケストラ・アンサンブル金沢と一体の石川県音楽文化振興事業団が、富山県の射水市文化振興財団、横浜みなとみらいホールと提携し、オペラ「耳なし芳一」公演を行うことを決め、ニュー・オペラ・プロダクションは、その制作協力を依頼されました。

時節が大変厳しい予算の中での公演で、舞台の質を落とすことなく、知恵を絞って節減に努めても、なお、赤字は免れない状況です。しかし、それでも、この作品が三つの都市の多くの方に見ていただけるということは大変嬉しいことで、期待を裏切らない素敵な公演にしようと懸命に努力しています。

殊に横浜の公演は、みなとみらいホールの小ホールが会場で、客席数が440席のこじんまりしたリサイタル・ホールで、このような小空間、しかも緞帳もなく、セットを吊すバトンも2本だけの舞台で、あの東京文化会館で上演した「芳一」をどう再現するか、ない知恵を絞っています。



1993年5月8日〈新宿文化センター〉
初演舞台 第3回公演として上演
芳一（福井 敬）の語る平家物語に耳傾ける亡霊
の奥女中（西 明美）武士（高橋啓三）



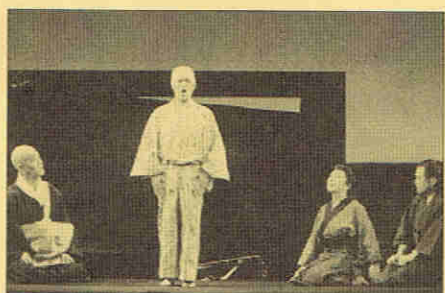
1995年2月26日〈松江市プラハホール〉
市民オペラとして上演
前掲写真と同じシーン、芳一（経種廉彦）亡霊
奥女中（西村順子）武士（山田祥雄）



1995年9月30日〈都市センターホール〉
第5回公演として上演 亡霊に取り憑かれたと
知って驚く芳一（福井 敬）を気遣う寺男（今
村雅彦）とその女房（辻 宥子）背後に亡霊奥
女中（坂本 朱）その左に武士（山口俊彦）



2001年3月4日〈なかのZEROホール〉
第10回公演として上演
芳一（中鉢聡）は亡霊の奥女中に囲まれる



2002年8月10日（東京文化会館）舞台芸術創造フェスティバル2002参加公演
耳をちぎられ悟りの境地に入った芳一（中鉢聡）を見詰める和尚（池田直樹）と寺男（志村文彦）その女房（秋山雪美）

この20年ニュー・オペラ・プロダクションに関わったオペラ公演

1990年(平成2年)6月1日設立

◆自主オペラ公演

91年4月●第1回「カルメン法廷」(25日、26日/こまばエミナース)

92年6月●第2回「セビリアの理髪師」(6日、7日/こまばエミナース)

93年5月●第3回「耳なし芳一」舞台初演(8日/新宿文化センター)

94年9月●第4回文楽人形オペラ「鳴神」
「昔斬人買太郎兵衛」舞台初演(3日、4日/セシオン杉並)〈杉並区教育委員会共催〉

95年9月●第5回「耳なし芳一」(30日/都市センターホール)

96年10月●第6回「テレフォン」
「泥棒とオールドミス(森公美子主演)」(9日、10日/なかのZERO)〈中野区文化・スポーツ振興公社共催〉

97年11月●第7回「あまんじゃくとうりこひめ」
「おこんじょうり(室内オーケストラ版初演)」(21日/なかのZERO)

98年10月●第8回「昔斬人買太郎兵衛」
「鳴神(歌手演技による初演)」(13日、14日/セシオン杉並)

00年3月●第9回「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「道化師」(24日/なかのZERO)〈中野区文化・スポーツ振興公社共催〉

01年3月●第10回「耳なし芳一」(4日/なかのZERO)〈中野区文化・スポーツ振興公社共催〉

06年2月●第11回「末摘花」舞台初演(25日、26日/セシオン杉並)〈杉並区文化・交流協会共催、杉並区後援〉

07年3月●第12回「カルメン法廷」(17日、18日/紀尾井ホール)

◆依頼オペラ公演(演出・制作・制作協力等)

90年10月●藤沢市民オペラ公演「ファウスト」演出(13日、14日、20日、21日/藤沢市民会館)

91年7月●モーツァルト・オペラ・シアター公演「ティートの慈悲」演出(28日/練馬文化センター)

10月●オペラ・アート・プロデュース公演「フィガロの結婚」演出(26日/京都こども文化会館)

92年3月●南日本新聞社、鹿児島オペラ協会主催公演「カントミ」演出(7日、8日/鹿児島県文化センター)

3月●神戸オペラ協会主催公演「魔笛」

台詞台本、演出(26日、27日/神戸文化ホール)

8月●東京室内歌劇場公演「人は知らず」演出、字幕監修(19日、20日、21日/東京芸術劇場小ホール)

9月●モーツァルト・オペラ・シアター公演「アポロとヒュアキントゥス」
「騙された花婿」制作協力、演出(27日/中央区立中央会館)

12月●市川オペラ振興会公演「アドリアーナ・ルクヴルール」演出、字幕監修(6日/市川市文化会館)

93年5月●東京室内歌劇場神津島特別公演「人は知らず」演出、字幕監修(16日/東京都立神津高校体育館)

7月●SEND O企画公演「源氏物語～夕顔の巻」初演演出(3日/国立劇場小劇場)

10月●東京室内歌劇場公演「人は知らず」演出、字幕監修(6日/日本教育会館一ツ橋ホール 夕、夜2回)

94年1月●神戸オペラ協会公演「ウィンザーの陽気な女房達」台詞台本、演出(14日、15日/尼崎アルカイクホール)

2月●市川オペラ振興会公演「仮面舞踏会」演出、字幕監修(26日/市川市文化会館)

95年2月●松江市民オペラ公演「耳なし芳一」演出・制作協力(26日昼、夜/プラバ・ホール)

9月●藤沢市主催公演文楽人形オペラ「昔斬人買太郎兵衛」「鳴神」演出・制作協力(3日/湘南台文化センター市民シアター)

9月●モーツァルト・オペラシアター主催「ボエーム」演出・字幕監修・制作協力(9日、10日/なかのZEROホール)

96年3月●鹿児島オペラ協会公演「コシ・ファン・トゥッテ」演出・制作協力(9日、10日/鹿児島市民文化ホール)

11月●信濃川文化推進事業公演オペラ「みるなの座敷」初演、演出・制作協力(23日/長岡市立劇場)

97年2月●「ゆきみらい97in長岡」公演「みるなの座敷」抄演、演出・制作協力(20日/長岡リリックホール)

10月●鹿児島オペラ協会公演「カントミ」演出・制作協力(4日/奄美大島文化センターホール)

11月●「信濃川文化推進事業」公演「みるなの座敷」演出・制作協力(16

日/見附市アルカディア・ホール)

12月●神戸オペラ協会公演「ヘンゼルとグレーテル」演出(25日、26日/尼崎アルカイクホール)

98年3月●鹿児島オペラ協会公演「奄美の娘カントミ」演出(14日、15日/鹿児島県文化センター)

3月●銀座ライオン音楽ピアプラザ10周年記念公演「おこんじょうり」演出・制作協力(24日/銀座ライオン音楽ピアプラザ)

12月●水戸芸術館オペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」演出(23日、24日/水戸芸術館ACM劇場)

99年11月●みえ県民文化祭、三重オペラ協会公演「ヘンゼルとグレーテル」演出(6日、7日/久居市民会館)

00年6月●岩手県胆江地区高校合同芸術鑑賞会巡回公演「カルメン法廷」制作・演出(前沢町、江刺市、胆沢町、水沢市)

02年8月●舞台芸術創造フェスティバル2002参加公演「耳なし芳一」制作・演出(10日/東京文化会館大ホール)

11月●横浜英和女学院音楽教室公演オペラ「おこんじょうり」制作・演出(28日/プリテン・ホール)

03年1月●新国立劇場・二期会主催オペラ「俊寛」「鳴神」(市川団十郎演出)制作協力(30日、31日、2月1日/新国立劇場大劇場)

04年7月●杉並区文化・交流協会主催公演「ヘンゼルとグレーテル」制作・演出・解説(20日、21日/セシオン杉並)

05年3月●昭島市制施行50周年記念事業実行委員会主催新作オペラ「いさな」初演演出・制作協力(20日/昭島市民会館大ホール)

07年2月●ニュー・オペラ・シアター神戸主催公演オペラ「魔笛」上演台本・演出(3日、4日/尼崎アルカイクホール)

08年3月●昭島「いさな」友の会主催昭島近隣都市オペラ歌手による第1回いさなコンサート第1部オペラ・アリア・コンサート第2部ミュージカル「マイ・フェア・レディ」ハイライト制作協力・台本構成・司会・演出(20日/昭島市民会館大ホール)

10月●新日鐵文化財団主催木下美穂子オペラティック・リサイタル「オテッロ～真実の愛」制作協力・演出・字幕監修(27日/紀尾井ホール)

NOPコンサートでご紹介の歌手94人 (第1回~第48回) [パート別 出演順]

ソプラノ	菅 英三子 渡辺由美香 宇佐美瑠璃 郭 才銀 山口道子 沢畑恵美 高橋薫子 緑川まり 李 恩順 佐々木典子	
	松田昌恵 釜洞祐子 天羽明恵 赤星啓子 森 麻季 安達さおり 大島洋子 半田美和子 松原有奈 岩井理花	
	佐藤ひさら 鷗木絵里 林 正子 鷗飼文子 三谷結子 田島茂代 中澤 桂 菊地美奈 塩田美奈子 平井香織	
	砂田恵美 大村博美 津山 恵 翠 千賀 羽山弘子 藺田真木子 品田昭子 砂川涼子 日比野 幸 吉原圭子	計43名
	橋爪ゆか 松尾香世子 木下美穂子	
メゾ・ソプラノ	坂本 朱 寺谷千枝子 井坂 恵 山下牧子 河野めぐみ	計5名
テノール	福井 敬 星 洋二 田代 誠 持木 弘 真野郁夫 近藤伸政 梅沢一彦 李 玄 大間知 覚 経種廉彦	
	五郎部俊朗 井ノ上了吏 中鉢 聡 小貫岩夫 金 鐘浩 黒田晋也 上原正敏 望月哲也 樋口達哉	
	ハン・ユンソック 水船桂太郎 高橋 淳 小山陽二郎 羽山晃生 小原啓楼 村上敏明 内山信吾 計27名	
バリトン・バス	稲垣俊也 勝部 太 佐藤征一郎 青戸 知 木村俊光 久保和範 柴山昌宣 大島幾雄 星野 淳 泉 良平	
	黒田 博 谷 友博 宮本益光 小森輝彦 三浦克次 池田直樹 小林由樹 鹿又 透 成田博之 計19名	
		総計94名

この他、「NOPコンサート以外の自主コンサート」や「依頼コンサート」、50タイトルに及ぶオペラ字幕監修、テレビ収録監督等、紙面の都合でご紹介出来ませんが、ただひたすら、がむしゃらに取り組んで来た記録を振り返ると、ここまで多くの方に支えられて来たこと、健康に恵まれて来たことに感謝せずにはられません。

杉オペラ研究所

来年の公開試演会はオペラ「末摘花」に挑戦!

ニュー・オペラ・プロダクション付属のオペラ研究機関として1999年に設立された杉オペラ演技研究所は、他の多くのオペラ歌手育成機関では余り重視されて来なかったオペラの制作過程に関する知識、舞台常識、マナー、基礎演技、作品分析等に重点を置いた実践的知識を与える場としての役割を果たして来ました。その間、絶えず研究生達の要望も採り入れ、様々な授業を行い、また公開の発表会も開催してきました。来年は第6回目の公開試演会になりますが、研究生にとっては大変難しい日本のオペラ「末摘

花」を取り上げることにしました。

もともと、この「末摘花」は当研究所はもとより、他の多くの歌手養成機関やオペラグループが男性歌手に比し、女性歌手の数が圧倒的に多いことに着目して、「女性だけの面白いオペラを」ということから出発して、新進作曲家の寺嶋陸也さんに委嘱して出来上がった作品です

既に当プロダクションの第11回公演として初演し、大変高い評価を受けました。

試演会は6月6日(日)〈浜田山会館〉マチネーの予定です。どうぞ、研究生達の精一杯の熟演をご期待、ご来場下さいませよう、お願い申し上げます。(所長 杉)



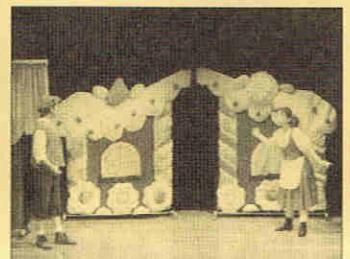
第1回2000年4月29日
新宿角筈区民ホール オペラ名場面
集「アイダ」アムネリス(岩崎史子)
とアイダ(生野やよい)



第2回2001年5月3日 浜田山会館
第1部オペラ名場面集「ドン・ジョヴァ
ンニ」ツェルリーナ(橋本 宝)とマ
ゼット(岡崎智行:助演)



第2回2001年5月3日 浜田山会館
第2部「泥棒とミス・トッド」左からホ
ブ(岡崎智行:助演)トッド(木村マキ:
助演)レティーシャ(高橋知子)



第4回2003年5月4日 浜田山会館
第2部「ヘンゼルとグレーテル」ヘン
ゼル(安達祐子)とグレーテル(今仲
敬子)セットは研究生の手作り

ニュー・オペラ・プロダクションはオペラやコンサートの活動を通じて、日本文化の向上を図り「少しでも多くの人に、より心豊かな人生を」を標榜して頑張っています。NOPの後援会・友の会に未だ入会されていない方には、ご入会をお勧めします。

なお、毎年、年が改まる1月1日を切り替え期限日とさせていただきます。ご了承ください。

後援会世話人代表 塩川喜信

♪後援会会員 (年会費:10,000円)

- 特典 ①自主オペラ公演には、ご本人とご同伴の方に入場券を優待割引し優先席を確保、プログラムを贈呈致します。
- ②自主コンサート公演には、ご本人とご同伴の方に入場券を優待割引致します。
- ③自主オペラ公演のプログラムに後援会会員として、お名前を掲載致します。
- ④NOPの活動を随時、お知らせします。
- ⑤NOP関連公演に、主催者、主催団体のご協力が得られた場合は、特別ご優待、又は特別ご招待致します。
- ⑥後援会会員、友の会会員懇親パーティ・コンサートに実費程度の低料金で、お招き致します。

♪友の会会員 (年会費:3,000円)

- 特典 ①自主オペラ、コンサート公演に500円程度の割引きで、ご優待致します。
- ②自主オペラ公演には優先席を確保致します。
- ③前記後援会会員特典④⑤⑥と同じ。

【お申込み・お問合わせ先】ニュー・オペラ・プロダクション内、後援会事務局 tel:03-3328-0817